

□ 脱炭素 × SDGs オーガナイザー育成プログラム 応募方法

応募締切：令和6年8月13日(火) → 29日(木)

応募方法：応募フォーム (<https://forms.gle/Yi5TwU9UqdsroBh56>)
または応募用紙を下記 HP よりダウンロードし、
問い合わせ先 (office@hso-t.com) へメールで送付。



▶ 9期生応募
QRコード



▶ 単発講座
申込 QRコード

単発講座のみの受講希望者は、
応募フォーム (<https://forms.gle/TSci3SrgsBo9e3t5>) または、
氏名・連絡先・参加日 / 参加方法を下記問い合わせ先へメール送付。

お申込みから受講開始までの流れ：

応募書類受信 ▶ 応募書類による選考 (地域性、公益性) ▶ 受講決定通知 (8月中旬頃) ▶ 受講料のお支払い ▶ 受講開始
※途中からの受講も可能です。受講していない講座については、録画データを貸出いたします。
※単発講座のみ受講の方は、原則開催日の5日前までに参加申込・参加費は事前お振込み

問い合わせ・応募先：※原則メールでのお問い合わせをお願いします。

ひょうご持続可能地域づくり機構 (HsO)
(事務局：一般社団法人ひょうご持続可能地域づくり研究所 (Hsl)) 担当：中川、霜倉
〒541-0042 大阪市中央区今橋 3-1-7 日本生命今橋ビル 10F (株)地域計画建築研究所 (アルパック) 内
E-mail: office@hso-t.com Tel: 06-6205-3600



▶ HsO の HP QRコード

ひょうご HsO 🔍 検索

ご関心のある方は、WEB 説明会や公開講座へ

オーガナイザー育成プログラム WEB 説明会

●日 程：・令和6年7月28日(日)【締切：7月26日まで】
・令和6年8月3日(土)【締切：8月1日まで】
上記同日 10時30分～11時30分

※上記日程でご参加が難しく、個別にご相談希望の方は、事務局までメールにて面談希望とご連絡ください。

●対 象：兵庫県下で社会課題の脱炭素化や SDGs 達成
に貢献する活動に取り組む事業者をお考えの方、
ご参加ありがとうございます。どなたでも大歓迎

●開催場所：オンライン
※オンラインの URL は、別途メールでお知らせ

●内 容：・プログラム概要
・質疑応答
・個別相談会 (希望者のみ)

●説明会 申込方法 (参加費無料)

申込フォーム (<https://forms.gle/8tX9sEhzt22sxbKs5>)
からお申し込みください。

アクセス出来ない方は、office@hso-t.comに、
参加日時、氏名、所属、住所、
ご連絡先 (E-mail、電話番号) を
下記メールアドレスへお送り下さい。



ひょうご脱炭素経営スクール

事業者向けに脱炭素経営スクールを9月に開校します。
まずは、公開講座にご参加ください。

脱炭素経営セミナー (公開講座)

●日 程：令和6年8月2日(金)15時～17時
●対 象：兵庫県下の脱炭素経営に関心のある経営者・
ご担当者100名
●開催場所：ラッセルビル5階
●申込締切：7月26日(金)

詳細や申込はこちら▶

ひょうご脱炭素経営スクール (9月開校)

●講座概要：自らの力で「脱炭素経営計画」を組み立てるスクール
(計9回)
●対 象：兵庫県内に事業を営む事業者
●期 間：令和6年9月上旬～令和7年3月迄
●開催場所：神戸市内現地+オンラインのハイブリッド方式
●申込締切：8月10日(土)

詳細や申込はこちら▶

ひょうご持続可能地域づくり機構 (HsO) とは

当機構 (HsO) は、人類的な課題となりつつある気候変動対策や生物多様性の保全と、地域の持続に向け、地域が中心となって取り組むため、環境省の人材育成モデル事業を契機として2015年に兵庫の但馬・豊岡の地で発足し、持続可能地域土 (サステナビリティ・オーガナイザー) の育成に取り組んでいます。

構成：兵庫県、兵庫県立大学、神戸市、姫路市、相生市、豊岡市、赤穂市、丹波篠山市、養父市、丹波市、朝来市、宍粟市、たつの市、市川町、福崎町、神河町、太子町、上郡町、佐用町、香美町、新温泉町、(株)地域計画建築研究所 (アルパック)、(一社)ひょうご持続可能地域づくり研究所

【事業パートナー】

豊岡商工会議所、豊岡市商工会、(株)但馬銀行、但馬信用金庫、NPO 法人コウノトリ市民研究所、NPO 法人暮らしのエコをすすめる但馬の会、姫路商工会議所、姫路市商工会、宍粟市商工会、(株)三井住友銀行、(株)みなと銀行、西兵庫信用金庫、但陽信用金庫

【理事】

菅 範昭 (兵庫県 環境部長)
上西 琴子 (兵庫県 環境部次長) *監事
坂本 成彦 (豊岡市 コウノトリ共生部 部長) *監事
小谷 祐介 (姫路市 環境局環境政策室長)
中村 仁志 (宍粟市 産業部長)
土川 忠浩 (兵庫県立大学 環境人間学部 環境人間学科 教授)
畑中 直樹 ((一社)ひょうご持続可能地域づくり研究所 (Hsl) 代表理事) *代表理事

一般社団法人 ひょうご持続可能地域づくり研究所 (Hsl) とは

修了した受講生とともに持続可能な地域づくりに向けて、事業の具体化、社会への
実装を共に進めていくため、一般社団法人ひょうご持続可能地域づくり研究所
(Hsl) を平成29年4月に設立しました。本事業の事務局を担当しています。

※平成29年4月11日設立、同5月9日登記

脱炭素 × SDGs オーガナイザー育成プログラム

兵庫県をフィールドに、全国の実践者の講師の方々から
新たな事業づくり・地域づくりのノウハウを学び、実践的な事業計画の組み立てを行う

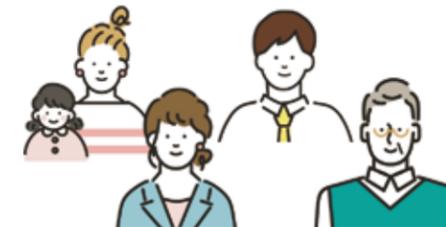
第9期生募集【令和6年8月29日(木)迄延長】



こんな思いの方におすすめ!

今の事業や活動をステップアップ
させたい方!

脱炭素、SDGs に取り組みたい
地域事業者の方!



社会や地域に貢献する活動を
してみたい高校生や大学生の方!

退職後、新しい仲間と
地域に貢献する事業をスタートさせたい方!

※切延長 8 / 13 (火) → 8 / 29 (木) !! 応募内容は裏面へ

当プログラムを法人受講し、認定を受けた中小企業者が対象となる融資制度もあります。

主催：兵庫県・公益財団法人ひょうご環境創造協会 (運営：ひょうご持続可能地域づくり機構 (HsO))
【事務局：一般社団法人 ひょうご持続可能地域づくり研究所 (Hsl)】



■プログラム概要

これからの事業づくり・地域づくりに必要な視点を学ぶ「学びの講座」と実践的な事業・活動計画の組み立てを学ぶ「実力をつける演習」。

20名程度の少数精鋭の中身の濃い講座で、受講生同士・修了生、さらに、全国のトップランナーの講師の方々との地域内外のネットワーク形成も可能です。

修了後も、機構が各受講生のフォローアップを行うとともに、修了・認定者同士のサポート・連携促進も行います。

【受講生へのサポート】

各コースの受講者は欠席回について動画等の視聴によるフォローを受けることができます。



個人、チームに分かれて、テーマを具現化するための調査・計画づくりを実践的に学びます。演習テーマは、自分が関心のある分野・内容により最終決定し、脱炭素とSDGsを掛け合わせた取組の具体化を学びます。

【テーマ例】

- ① 地域への再エネ導入に関する取組・事業について
- ② 地域の自然と経済の循環を促進する取組・事業について
- ③ 誰一人取り残さない、地域脱炭素化の取組・事業について



□プログラムの詳細

対象

- SDGsの理念を基盤とし、脱炭素化を目指した持続可能な社会の実現のために、事業づくりや地域づくりを率先して進めたいと考える方
- 地域との関わり、多様なセクターとの連携、事業の継続実施をコーディネートしたいと考えている方
- 兵庫県内在住・在勤の個人、事業者、地域事業者をサポートする金融機関、NPO 団体職員、中学生、高校生、大学生、地方公共団体職員など

- (定員) 20名程度 *HsO 全体会にて選考を実施
- (受講料) 【個人】25歳以下：無料、35歳以下：10,000円、左記以外の個人：15,000円
【法人】25,000円(1回の講座につき同法人から2名まで参加可)
*視察等は上記以外一部実費負担あり。
- 単発講座受講も受入 学びの講座：1講座 3,000円
- (認定) 講座を受講し、チームによる活動・事業計画立案演習により一定の能力を身に付けた方を、サステナビリティ・オーガナイザー(持続可能地域土(SO))に認定する。

○修了生・認定者の声

漠然としたSDGsに関する興味を、知識を得て社会と絡めた具体的な形にしたいと、参加しました。大学生の私に、事業計画を立てられるのかと心配していましたが、内容の濃い講義とメンターの方々の手厚いサポート、そして同じ問題に対して深く考え合う仲間とともに作りあげることができて何より良かったです。これからの社会を担う世代として、持続可能な地域づくりについて考えるとても良い機会になりました!

兵庫県立大学環境人間学部 成瀬綾音さん



当初は頭の中だけの理解でSDGsや「地産地消」について、グループ内で議論していたが、具体的な事業計画を「自分ごと」として捉える演習段階で変化が生じた。特に現場の実情を把握する中で、次第に「地域の活性化」の重要性に気づかされ、ユニークな事業計画に仕上がったと思う。多くの課題を残しているものの、良い経験を積む機会となった。

特定非営利活動法人産業人OB ネット 副理事長 板倉 範幸さん



今回、プラスチック業界の視点から、変化する社会への貢献方法を探るために参加しました。当初は脱炭素の取組に対して不安がありましたが、講義や演習を通じて他の参加者の熱意に触れ、私たちにもできる身近な取組を見つけたきっかけとなりました。特に、グループ演習では多くの意見を交換し合い、有意義な学びの場となりました。

株式会社日豊 篠岡 大起さん



岡山県真庭市での研修で印象的だった「今すぐ世界は変えられないけど、今すぐ世界の感じ方を変えるはできる」という言葉が、このプログラムでの学びを表している気がします。普通の生活を送っていれば出会えないような幅広い分野・年齢層の方々とお話できた時間は、今後の人生に生きてくると感じます。

日本福祉大学大学院国際社会開発研究科 新井 美羽さん



*プログラムは変更する場合があります

□講座のスケジュール

実施場所 時間	◎神戸市周辺の会場・オンラインのハイブリッド方式 ◎13:30 ~ 16:30 頃	
開校式	ガイダンス及び第1回：地域で取り組む脱炭素化・地域循環共生圏	
令和6年 9/7(土)	畑中 直樹氏 ひょうご持続可能地域づくり機構 代表理事 (一社)ひょうご持続可能地域づくり研究所 代表理事	博士(環境科学)。1964年横浜生まれ・福岡市育ち。大阪大学工学部環境工学科卒業後、一貫して地域の環境問題・持続可能な地域づくりに取り組むかたわら、(財)地球環境戦略研究機関(IGES)客員研究員、大阪大学大学院工学研究科招聘教員(環境・エネルギー工学専攻)、行政の各種委員等を務める。また、自然再生や森林・木材関係のNPO等の役員としても多数活動。総務省地域力創造アドバイザー、(一財)地域総合整備財団(ふるさと財団)地域再生マネージャー。
学びの講座	第2回：脱炭素社会に求められる事業の視点・あり方について(仮)	
令和6年 10/5(土)	大久保 和孝氏 株式会社大久保アソシエイツ 代表取締役社長 公認会計士 (元 EY 新日本有限責任監査法人経営専務理事)	慶應義塾大学卒。㈱商工中央金庫取締役、㈱セガサミーホールディングス取締役(監査等委員)、農業法人サラダボウル取締役等の社外役員に多数就任のほか、理化学研究所客員研究員、長野県農業大学校客員教授等を歴任。水素を蓄電に活用する技術をコアにする㈱メグレナジー(代表取締役副社長)、宇宙でのレーザー利用を目的としたスペースレーザーテクノロジーズ㈱(代表取締役社長)、PCRなどの検査を行う㈱SSDF(代表取締役社長)などを起業。そのほか、政府等の多数の役職につき、長野県・宮崎市・日南市・鎌倉市コンプライアンス担当参与、地方活性化支援として大阪府・長野県・夕張市・京丹後市・気仙沼市・釜石市の参与・アドバイザーを歴任。キリンビール地域創生トレーニングセンタープロジェクト運営委員等。
学びの講座	第3回：地域循環共生圏のはじめかた～資金循環のしくみから～(仮)	
令和6年 10/26(土) 11/2(土)	深尾 昌峰氏 龍谷大学副学長 / 政策学部教授	熊本県出身。滋賀大学大学院修了。2001年に日本で初めてのNPO法人放送局「京都コミュニティ放送」の立ち上げに参画(事務局長、理事長などを歴任。)公益財団法人京都地域創造基金の理事長に就任('09年~'18)。その他、経済財政諮問会議専門調査会「選択する未来委員会」委員などを歴任。2012年には社会的投資を促進する株式会社PLUS SOCIALを起業。2014年グッドデザイン賞を受賞。2010年4月に龍谷大学法学部准教授に就任し2011年4月から政策学部准教授、2018年から教授。2022年4月からは副学長も務める。
学び&交流会	第4回：修了生をお招きし、活動報告と受講生との交流を図る	
令和6年 11月頃～ (調整中)	修了生(～8期生)をお招きし、どのように事業計画を考えたのか、修了後の活動報告を行っていただき、受講生の交流を図ります。	
視察合宿	先進的な取り組みを視察します(日帰りを想定)	
令和6年 11月頃～ (調整中)	持続可能な地域づくりに資する事業・活動やSDGsに取り組む先進地を視察します。地域で活躍する先駆者の方々の想いや活動の経緯等のお話を伺うとともに、自分達の事業や地域づくりでどのようなことを活かせるか、またどのような活動をしていくかを考えます。 (視察候補：兵庫県淡路市 / 兵庫県宝塚市 / 兵庫県豊岡市 / 岡山県真庭市 など)	
演習 (11～2月頃) ※各チーム毎で 日程調整	個人、チームに分かれて、事業の組み立てを行います。各回はチームごとに集まり、事業の組み立てを行います。	
	第1回：事業計画組み立て/ 取り組むテーマ・仮説	それぞれの関心のテーマを踏まえて、チーム分けを行います。ご自身のテーマが確立されておられる場合、お一人で取り組むことも可能です。修了後の活動に向けて、思いを計画に落とし込んでいきます。
	第2回：事業計画組み立て/ 仮説検証のための調査結果持ち寄り・組立	
	第3回：事業計画組み立て/ 発表練習	下記メンター陣や、HsOメンバーもメンターとして事業計画を修了発表会で発表できる形へサポート。その他、テーマに応じてメンターをお招きします。現地調査や多様な受講生との対話を通じて、学びを深めていきます。
	【地域の実践者のメンター陣】	
	宮垣 健生氏 但馬信用金庫 常務理事 総合企画部長	木築 基弘氏 株式会社 キツキ商会 代表取締役
	兵庫県豊岡市生まれ。但馬信用金庫では審査・組織戦略・リスク管理・職員研修・地域ビジネス創出支援等の業務を経て現職に。東京都が運営するスタートアップ支援組織 NEXsTokyo のメンターも務める。内閣官房2017年度、2019年度、2020年度、2022年度の地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』にも選出。持続可能なビジネスをゼロから構築する地域創生プロジェクト創出に注力。	第1期サステナビリティ・オーガナイザー(持続可能地域土)。但馬夢テーブル委員会9～10期 委員長。長年、再生可能エネルギー導入等や持続可能な地域づくりを実践。地元の但馬地域では、若者が大学卒業後、7割以上は地元に戻ってこない事に課題を感じ、1期生でのテーマは、「Uターンの促進」。キャリア教育やふるさと教育となる企画を様々なメンバーで継続実践。また、高校生有志による地域活動サークルの顧問として、その運営を支えている。環境分野(SDGs)については、地元の高校の部活や同サークルなどの参画も得ながら、様々な啓発や実践活動を、個人的には県内での出前講師などを行っている。
修了発表 (令和7年3月頃)	成果を発表し、要件を満たす方を修了およびサステナビリティ・オーガナイザーとして認定	

*演習等の日程については、受講生の予定も加味し、決定します。
*プログラムは変更する場合があります